令和6年度事業報告書

社会福祉法人八幡市社会福祉協議会

I. 総括

当会では、八幡市との協働により策定した「第3次八幡市地域福祉推進計画」に基づき、「手と手がつながり広がる輪みんなでつくるおもいやりのまち」を基本理念に、令和6年度においても、地域の方々や八幡市、関係機関・団体と連携・協力しながら、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、様々な福祉活動に取り組みました。

まず、生活困窮者対策については、コロナ禍がほぼ収束した今も、経済の低迷、非正規雇用の増加、物価高騰等を背景に、依然として生活困窮が深刻な社会課題となっていますが、この問題は単なる経済的な問題ではなく、病気、障がい、社会的孤立など様々な要因が複雑に絡み合い、相互に影響を及ぼし合っているため、包括的な対策が求められます。当会では、地域の方々や八幡市、関係機関・団体と協力しながら、幅広い取組を行いました。まず、生活困窮に関する相談窓口として、問題解決に向けた助言や他の福祉サービス等へのつなぎを行うとともに、食料等の生活に必要な物資の提供を行うなど、生活困窮者の生活支援を行いました。また、生活困窮者が地域で孤立することなく支援を受けられるよう、関係機関等との連携を強化し、地域全体で生活困窮者を支えるネットワークづくりに努めました。さらに、家計改善支援や就労支援など、生活困窮者の自立促進にも力を入れました。

また、担い手の減少・高齢化などの課題を抱えながら、各地域で取り組んでいただいている様々な福祉活動については、当会の職員が地域の方々の思いや悩みに真摯に耳を傾け、共によりよい方向や解決策について考えるなど、支援や協働の取組を進めました。

介護保険サービスや障がい福祉サービスについては、利用者様一人ひとりの状態や希望に合わせた、きめ細かなサービス提供に努めました。また、複合的な課題を抱える利用者様に対しては、必要により福祉サービス利用援助事業等の他の社協事業につなげるなど、包括的な支援を行いました。

厳しい経営環境の中でこうした活動を継続的に行っていくため、法令順守を全ての基盤としてガバナンス強化を図りながら、安定的かつ多様な財源確保と専門性と倫理観を兼ね備えた人材育成に努め、健全かつ持続可能な法人運営を行ってまいります。

Ⅱ. 重点活動

1. 財政活動

地域に根差した社協活動を持続的に進めるためには、会費を はじめ、共同募金の配分金、寄付金などの自主財源の安定的な 確保が不可欠です。

このうち会費に関しては、自治会の皆様や関係の皆様のご協力により、納入総額は前年度とほぼ同額の3,236千円、会員加入率も前年度と同率の10.7%となりました。

共同募金については、街頭募金活動に多くの方に参加していただきました。配分金は前年度よりも減少しましたが、これまでと同様、社協事業で活用するとともに社会福祉施設等に配分しました。

また、市民や企業からの寄付金については、金額は前年度を 下回ったものの、件数は前年度を上回りました。

2. 組織の強化

理事と評議員で構成する部会では、事業計画に基づく点検と 評価を行い、事業の進捗管理に努めました。

役員研修会については、令和7年3月に、八幡市と同じく内水対策が課題となっている福知山市の社会福祉協議会を訪問し、災害ボランティアセンターの活動等について話を聞きました。

職員研修については、業務や職員の生活設計に役立つテーマを選定し、証券会社社員、八幡市職員、当会職員など多様な講師陣により実施しました。

3. 第3次八幡市地域福祉推進計画の推進

第3次八幡市地域福祉推進計画の2年目を迎え、3つの基本目標に基づき、各事業の推進に努めました。重点プロジェクトの「談活」については、以下の四つの取組を進めました。

①「多機関連携」

成年後見制度利用促進等に係る中核機関の整備に向け、関係機関の連携により、福祉サービス利用援助事業及び成年後 見制度に関する研修会を開催しました。

② 「居場所づくり」

世代や属性を越えて気軽に集まることができる居場所づくりを目指し、定期的に会合を開いて流しそうめん、まちあるきなどのイベントを企画し、実施しました。

③「情報発信」

八幡市と協定を結んでいる摂南大学と協力し、認知症当事者やご家族等へのインタビューを実施し、その結果を取りまとめた冊子「おれんじのーと」を作成しました。

④ 「地域福祉実践交流」

地域福祉の活動者や関係機関等が互いに自身の活動内容や 経験を共有し学び合うとともに、それにより新たな連携や協力関係を築くため、座談会を実施しました

4. 災害ボランティアセンターの運営

令和6年能登半島地震被災地の復旧・復興支援及び被災者の 生活再建支援のため、令和6年4月から5月にかけて、石川県 七尾市に職員を2名派遣しました。

また、地域と連携した取組として、くすのき地区の防災訓練に参加するとともに、地図会社との連携事業として、防災マップづくりに取り組みました。

5. 相談機能の充実と生活支援の推進

「特例貸付フォローアップ相談・支援事業」において、八幡市、地域包括支援センター、民生児童委員等との連携強化を図りながら、生活相談会や弁護士による専門生活相談会を実施するとともに、居場所づくりとして、「やきいも交流会」、「もちつき大会」を実施しました。

また、生活に困窮する市民の自立促進を図るため、家計改善支援事業や被保護者等就労支援事業に、関係機関と連携しながら取り組みました。

福祉サービス利用援助事業では、判断能力に不安のある市民の方が安心して生活が送れるよう、府社協と連携しながらきめ細かな支援を行いました。

ふれあい福祉センターでは、市民の身近な相談窓口として、 複雑・多様化する相談に対して関係機関と連携しながら丁寧に 対応しました。

地域活動支援センターやまびこでは、障がいをもつ人に対し「通いの場」を提供するとともに、生活の安定を支援するためのサービス利用の計画相談を実施しました。また、ガイドヘルパー養成講座を開催し、18名の方が受講されました。

6. 福祉委員会活動支援

身近な地域で住民による支え合い活動や交流活動を行うふれあいサロンは、前年度を上回る実施回数となりました。また、令和7年1月に開催した地域福祉実践交流に福祉委員の皆様にも参加していただき、自治会、民生児童委員、ボランティア団体の方等と幅広く交流していただき、新たな連携や協力関係づくりに役立てていただきました。

7. ボランティア活動の支援

ボランティア講座として、令和6年11月に石清水八幡宮の 清掃活動を実施したところ、募集定員を超える多数の方々が参 加してくださいました。

また、子ども達や子育て世代の方に、ボランティアや福祉活動に興味を持ってもらうため、小・中・高生を対象にした「春のちょボラ学校『なぞとき脱出ゲーム』」を実施したところ、募集定員を大幅に上回る応募があり、急遽、開催回数を2回に増やして実施しました。今回の経験により、イベントの集客に関しては、打ち出し方や「遊び」の要素が重要であることを、改めて認識しました。

8. 広報啓発活動の推進

広報啓発のため、年4回、「社協だより」を全戸配布するとと もに、ホームページやインスタグラム等でも最新情報を発信し ました。

「市民福祉講座」については、令和6年度は「子育て」と「多様性」をテーマとして2回開催しました。職員を地域に派遣する「福祉出前講座」については、6回実施しました。

9. 介護保険関連事業

地域に根ざした社会福祉協議会ならではのきめ細かなケアプラン作成に努めました。

介護保険法に定める居宅サービスや障がい福祉サービスの 範囲を超えてサービス提供を希望する市民に対し、有償による スマイルサポート事業を実施するとともに、介護予防を図るた めの地域支援事業についても、引き続き積極的に取り組みまし た。

また、介護予防・日常生活支援総合事業として、「運動機能向上事業(パワーアップ教室)」、「ランチ De サービス事業」、「閉じこもり予防支援事業・口腔機能向上支援事業・栄養改善事業

(いきいき笑って教室)」、「八寿園亭事業」等に取り組みました。

「認知症対応型通所介護事業(八寿園デイサービス)」では、 認知機能が低下した方にいきいきと楽しい日常生活を営んで いただけるよう、きめ細かなサービス提供に努めました。

高齢者の方々が介護保険施設で行ったボランティア活動の 実績に応じてポイントを受け取り、貯まったポイントを換金 することができる「介護支援サポーター事業」にも引き続き 取り組み、介護予防の推進に努めました。

事業項目	本年度実施状況		前年度実績
1.財政活動	・社協会員の加入促進		
	会費	3,236,157円	3,225,328円
	500円普通会員	$3,519\square$	<u>3,714□</u>
	3,000円特別会員	$122\square$	<u>131 □</u>
	10,000円賛助会員	<u>37 □</u>	<u>27□</u>
	500円未満協力金	$2,941 \square$	<u>3,037 □</u>
	会員加入率	<u>10.7%</u>	<u>11.3%</u>
	・寄付金等 <u>寄付件数51件</u>	金額:1,756,488円	43件 2,400,184円
	・ふれあい福祉基金		
	年度末基金総額:	18,454,881円	<u>18,329,314円</u>
	(R6.運用益収入:	521,836円)	(144,773円)
	・ボランティア基金		
	年度末基金総額:	105,831,790円	101,124,625円
	(R6.運用益収入:	4,707,165円)	<u>(R5.運用益収入1,463,764円)</u>
	・障害者(児)福祉基金		
	年度末基金総額:	13,066,459円	<u>R4. 12,495,808円</u>
	(R6.運用益収入:	753,735円)	<u>(R5.運用益収入134,388円)</u>
	・自動販売機の収入	68,552円	<u>R5. 58,454円</u>
2.組織活動	・理事会・評議員会・監事会		
	理事会	<u>4回開催</u>	<u>5回開催</u>
	評議員会	<u>3回開催</u>	3回開催
	監事会	<u>1回開催</u>	1回開催
	評議員選任・解任委員会 ・専門部会	<u>2回開催</u>	<u>1回開催</u>
	広報啓発部会	4回開催	<u>4回開催</u>
	総務部会	3回開催	3回開催
	介護保険・障がい福祉部会	3回開催	3回開催
	地域福祉部会	3回開催	3回開催
	 •【役員研修会】		
	実施日:令和7年3月28日(金)8:30)~16:00	実施日:令和6年3月26日(火)
	行 先:福知山市社会福祉協議会		15:00~16:00
	テーマ:「福知山市災害ボランティ」	アセンターの活動に	テーマ:「認知症について」
	ついて」		講師:小川医院
	参加者: <u>15名</u>		院長 小川智 氏
			参加者: <u>30名</u>
	 ・【職員研修】		【職員研修】
	職員の知識を向上させるため定期的に	こ研修会を実施しま	① 定款、社会福祉法
	した。		実施日:令和5年6年26日(月)
			13:30~15:30
	① BCP(業務継続計画)		令和5年7月5日(水)
	実施日:令和6年8月3日(土)8:30~	~12:00	13:30~15:30
	参加者: <u>34名</u>		参加者:15名

事業項目	本年度実施状況	前年度実績
	② 国民健康保険·後期高齢者医療保険·介護保険	② BCP (業務継続計画)
	国民年金について(市役所職員) 各制度の基本的な仕組みについて学びました。	実施日:令和5年6月20日(火) 14:00~15:30 令和5年6月23日(金)
	実施日:令和6年10月22日(火)10:00~12:00	14:00~15:30 参加者: <u>全職員</u>
	参加者: <u>22名</u>	③ 予算・決算・経理
	③ NISA・iDeCo について	実施日:令和5年7月28日(金) 13:30~15:30 令和5年8月29日(火)
	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社から 商品の説明と運用の仕方を学びました。	13:30~15:30 参加者: <u>21名</u>
	実施日:令和6年11月19日(火)10:00~11:00	④ 第3次地域福祉推進計画
	参加者:21名	実施日:令和5年10月27日(金) 13:30~14:30
	④ コンプライアンス	令和5年12月26日(火) 13:30~15:00 参加者: <u>12名</u>
	実施日:令和6年12月10日(火)10:30~11:30 令和6年12月12日(木)14:00~15:00	
	参加者: <u>全職員</u>	⑤就業関係(勤務時間、休暇等) 実施日:令和5年12月12日(火) 13:30~15:00 令和5年12月26日(火)
		13:30~15:00 参加者: <u>17名</u>
		⑥市町村社協経営指針 実施日:令和6年1月19日(金) 13:30~15:30 参加者: <u>3名</u>
		⑦コンプライアンス 実施日:令和6年2月15日(木) 17:30~18:30 令和6年2月16日(金) 9:00~10:00 令和6年2月29日(木) 14:00~15:00
		参加者:全職員

中华辽口	+ 左 库中长4.27	<i></i>
事業項目	本年度実施状況	前年度実績
3.災害ボラン	① 啓発	① 啓発 一
ティアセンタ	・くすのき地区防災訓練 期間:令和7年3月2日(日)10時~12時	・防災と災害ボランティア展 日時:令和6年1月18日~
一の運営		
	場所:男山第二中学校	1月23日
	内容:(1)新聞紙スリッパ・皿づくり	場所:八幡市役所1階
	(2) 耐熱ポリ袋クッキングの実演(八幡市	エントランス 内容:1. 能登半島地震関連に
	食生活改善推進協議会と合同実施)	
	(3) 防災豆知識缶バッチの配布及びアンケ ートの実施	ついて (義援金の案内・今できること)
	一下の美胞	ること
	 ・談活「地域福祉実践交流」	グッズの展示・防災豆知識バッ
	期間:令和7年1月19日(日)13時30分~16時	ジの配布)
	場所: 文化センター 小ホール	3. 災害ボランティアセンター
	物所・Xili こう	について
	(2) 阪神・淡路大震災「1.17 の記録」	
	(写真展)	② 研修
	(3)聞かせてください「阪神・淡路大震災か	・令和5年度京田辺市災害ボラ
	ら30年 その時、あなたは…」(アンケ	ンティアセンター研修会への
	— F)	参加
	(4)聞かせてください「私にできること 私	日程:令和6年3月5日(火)
	たち(地域・団体)にできること」	内容: 災害ボラティアセンター
	(5)新聞紙スリッパ・皿づくりサンプル、作	立ち上げ経験のある社協によ
	り方一覧	る取組報告
		※綴喜2市2町の社協の参加
	②研修	
	八幡市社会福祉協議会役職員研修	③ 運営委員会
	日程:令和7年3月28日(金)	第1回:令和5年11月10日(金)
	内容:福知山市災害ボランティアセンターの取組	第2回:令和6年3月4日(月)
	について	
		④ その他
	③運営委員会	・山城青年会議所との協力体制
	・第1回:令和6年12月11日(水)13時30分~	防災デイキャンプ(企画協力)
	15 時 30 分	日程:令和5年7月8日(土)
	・第2回:令和7年3月2日(日)13時30分~	場所:男山レクリエーションセ
	15 時	ンター
		内容:オリジナル缶バッジづく
		り
	④その他	災害ボランティアレクリエー
	・能登半島地震における七尾市職員派遣	ション
	日程:令和6年4月5日(金)~4月11日(木)	災害ボランティアセンター啓
	(第 19 クール)	発
	令和6年5月3日(金)~5月9日(木)	
	(第 26 クール)	山城青年会議所と社会福祉協
	内容:(1) 資材の整備・管理	議会との意見交換会
	(2)廃棄物の仮置き場の設置	日程:令和5年8月30日(水)
	(3)ニーズ受付をした相談者宅への訪問など	場所:連携体制を築くために
		は、互いの組織、強みを理解し

事業項目		本年度実施		前年度実績
	現地調査 ・防災マッププロジェクトチーム会議 日程:令和7年3月5日(水)14時~15時30分 内容:(1)関西地図協会の取組について (2)前回の運営委員会意見交換及び防災訓練 のアンケート共有 (3)意見交換			ていくことが必要であること から、顔の見える関係づくりの 一歩として意見交換会を実施 山城青年会議所との災害時に
4.高齢者福祉事業	・フリージヤ弁当・福祉機器の貸出	年間車イ	延べ <u>212世帯 424食</u> ス <u>60回貸出</u> (<u>体験貸出5回</u>)	<u>430食</u>
	・テレフォンボラン	利用 ボラ	登録者 <u>19名</u> ンティア <u>11名</u> <u>(年間延べ192名)</u>	<u>11名</u> <u>(年間延べ191名)</u>
5. 障がい者 (児) 福祉事業	・福祉機器の貸出	車イス	<u>60回貸出</u> (再掲) <u>(体験貸出5回)</u>	65回貸出(再掲) (体験貸出5回)
	・障害者(児)福祉 助成先	基金 (事業内容	
	ディアレストほっと	50,000円	介護用電動ベッド	70,000円 (レンブロック・マイク)
	! —Factory kozuya	50,000円	空気清浄機	(バランスクッション・テーブ ル)
	蓮華	50,000円	空気清浄機	
	学び舎リグ清水井舎	50,000円	見守り防犯カメラ	・グループホーム RASIEL 石清水70,000円(レインコート30着)(非常食セット48食分

事業項目	本年度実施状況	前年度実績
6.児童福祉事	・夏のちょボラ学校	・夏のちょボラ学校
業	日時:	日時:
	①入学式 令和6年7月29日(月)	① 入学式
	②体験 令和6年7月30日(火)~8月2日(金)	令和5年7月31日(月)
	③卒業式 令和6年8月2日(金)	② 体験
	参加者: <u>15 名(申込人数)</u> 【のべ人数 67 名】	令和5年8月1日(火)~8月
		4 日 (金)
	内容:炊き出し体験、国際交流(ミャンマー)、手話・	③ 卒業式
	要約筆記体験、ポスターづくり(赤い羽根共同募金の啓	令和5年8月4日(金)
	発)、失語症の方との交流(パン作り・卓球バレー体験)、	参加者:9名(申込人数)【のべ
	暑さ指数測定器の作製 ※選択制	人数 33 名】
		内容:認知症啓発、手話・要約
		筆記体験、電池チェッカーづく
	・福祉教育協力事業	り、国際交流(ベトナム)、介護
	①くすのき小学校 【視覚障がい理解教育】	福祉、イベントボランティア※ 選択制
	【祝見障がい 理解教育】 対象: 3 学年 3 クラス 日程: 令和 6 年 11 月 25 日(月)	(基代前)
	【聴覚障がい理解教育】	・福祉教育協力事業
	対象:4学年3クラス 日程:令和6年12月5日(木)	1) くすのき小学校
	【肢体不自由障がい理解教育】	【視覚障がい理解教育】
	対象:5学年2クラス 日程:令和7年2月10日(月)	対象:3学年3クラス
		日程:令和5年11月28日(水)
	②中央小学校	【聴覚障がい理解教育】
	【視覚障がい理解教育】	対象:4 学年3 クラス
	対象:4学年2クラス 日程:令和7年3月3日(月)	日程:令和5年11月30日(木)
	【聴覚障がい理解教育】	【肢体不自由障がい理解教育】
	対象:5学年2クラス 日程:令和6年11月22日(金)	対象:6学年3クラス
	【肢体不自由障がい理解教育】 対象:6学年2クラス 日程:令和6年12月9日(月)	日程:令和6年2月27日(火)
	列家: 6 子午 2 夕 夕 八 日 住: 刊 和 6 午 12 月 9 日 (月)	2)中央小学校
	 ③南山小学校	【視覚障がい理解教育】
	【視覚障がい理解教育】	対象:4学年2クラス
	対象: 3 学年 1 クラス 日程: 令和 6 年 6 月 17 日(月)	日程:令和5年10月2日(月)
	【聴覚障がい理解教育】	【聴覚障がい理解教育】
	対象:4 学年 2 クラス 日程:令和 6 年 12 月 19 日(木)	対象:5 学年2クラス
		日程:令和5年11月24日(金)
		【肢体不自由障がい理解教育】
	【肢体不自由障がい理解教育】	対象:6学年2クラス
	対象:5 学年 1 クラス 日程: 令和 6 年 12 月 16 日(月)	日程:令和5年12月4日(月)
	【地域理解】 対象:6学年2クラス 日程:通年	 3) 南山小学校
	内外・U ナナ4ノノハ 日任・地十	3) 田川小子仪 【聴覚障がい理解教育】
		対象:3学年2クラス
	 ④男山第三中学校	日程:令和5年6月28日(水)
	【福祉体験学習:手話体験、点字体験】	
	対象:1 学年4クラス 日程:令和6年11月29日(金)	

事業項目	本年度実施状況	前年度実績
<i>\$</i> /k/XI	・ボランティア講座	【肢体不自由障がい理解教育】
	(ちょボラタイム ~はじめてのボランティア~)	対象:5年生2クラス
	日時:令和6年11月16日(土)9:30~11:00	日程:令和5年6月27日(火)
	場所:石清水八幡宮	
	参加者: <u>22 名</u> (定員 20 名)	4) 男山第三中学校
	内容:石清水八幡宮を掃除(草引き、ごみ拾い等)	【点字体験、手話体験】
		対象:1学年4クラス
	・ボランティア活動センター運営委員会 4回開催	日程:令和5年2月29日(木)
	**D = ** ** * **	
	・市民啓発事業	
	春のちょボラ学校「なぞとき脱出ゲーム」	
	日時:令和7年3月16日(日)13:00~16:00 令和7年3月30日(日)13:00~16:00	
	5 和 7 年 3 月 30 日 (日) 13 . 00	
	参加者数:112 名(定員 50 名×2 日間)	
	沙州日	
	 内容:福祉体験(点字、手話、要約筆記、ペンシルバル	
	ーン、車いす)	
		・要保護児童訪問支援事業
	・要保護児童訪問支援事業	ヘルパー12名を15家庭の利
	ヘルパー13名を 12 家庭の利用者へ	用者へ <u>24回</u> <u>18時間</u>
	<u>13 回</u> <u>18 時間</u>	
7.4日本人	业园营入学科の町八人では、1,000,040円の町八十五は	1.040 700
7.共同募金	・共同募金運動の配分金では、1,299,246円の配分を受け、	1,648,532円
配分事業	自主事業である下記の事業に活用しました。	
	- フリージヤ弁当配食事業 200千円	200千円
	・テレフォンボランティアサービス事業 <u>100千円</u>	<u>100千円</u>
	・福祉当事者団体活動補助事業 340千円	340千円
	・障がい者週間啓発事業 75千円	75千円
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ と は に に に に に に に に に に に に に	584千円
	・ボランティア活動支援事業 419千円	350千円
	・歳末たすけあい運動では <u>2,136,164円</u> の配分を受け、配	2,578,606円
	分委員会で検討の結果、住民参加型の福祉活動や障がい者	
	通所事業所などへ配分しました。	
	(本))、大文字·古米字	10. 7
	・障がい者通所事業所 11ヶ所 546千円 ロール・管がい者出口を活事業所 7. デ 7. デ	10ヶ所 501千円
	・障がい者共同生活事業所 7ヶ所 57千円	6ヶ所 162千円 220千円
	・おせち料理配食 0円 ・歳末見舞い品配付事業 7 世帯 15千円	97世帯 329千円
	・ ・	34団体 1,110千円
	・地域備征推進事業 32団体 980千円 ・福祉当事者団体 8団体 140千円	8団体 1,110 <u>十円</u> 8団体 160千円
	・ 仮害ボランティアセンター積立金 <u>347千円</u>	194千円
	・子どもの居場所づくり助成事業 0円	3団体120千円
	- イン 50 V A 物所 フ 、	0月11年120 1
	11///	
		1

事業項目		本年度実	 施状況			前年度実績
8. 貸付等援	・生活困窮者等	等家計改善事業		世帯	(含む)	
護事業等		新規相談受付付相談利用人数付相談利用実績付	合計		<u>27件</u> <u>265名</u> <u>755件</u>	<u>45件</u> <u>298名</u> <u>1,061件</u>
	・被保護者等家	就労支援事業(生 新規支援件数 今年度支援件等 就職者数		含む	28件 <u>48件</u> <u>28名</u>	28件 48件 23件
	たすけあい資	資金貸付			<u>1件</u>	<u>3件</u>
	・生活福祉資金 【内訳】	全貸付	<u>501</u>	牛	15,607千円	48件 14,697千円
		総合支援資金 教育支援費 就学支援費 福祉費 緊急小口資金	$\frac{14}{126}$ $\frac{14}{176}$ $\frac{176}{66}$	生 生 生	390千円 6,921千円 5,711千円 1,985千円 600千円	2件320千円15件5,715千円17件7,008千円11件1,354千円3件300千円
9. 特例貸付 フォローアッ プ相談・支援 事業	め専任5名を ① 窓口相談及	、世帯等に対する 2置 なびアウトリーチ ∃談および手続き	· (電話・			特例貸付借受人世帯等に対する相談・支援業務を行うため、 11月から専門相談員「温ったか京都・寄り添いワーカー」3名を
1 7/2	0,000	アウトリーチ	仮受人;	から	合計	配置・アンケートの実施
	相談件件数	1,843件	344 1	牛	2, 187 件	特例貸付世帯の現在の生活状況を確認するため、全借受人世
	上記の相談のう	うち				帯に対してアンケート調査を 実施
	うち猶予申	清 うち分	割申請	う	ち免除申請	アンケート送付世帯1,073世帯
	52 件	52 件 8 件 103 件		103 件	・アウトリーチ支援アンケートにおいて支援を希	
	② 償還猶予中の仮請け人世帯の支援				望する世帯に対し、生活物資配 布を行うとともに、困窮状態と	
	猶予中の支援 他機関等との連携 意見書作成		意見書作成	思われる世帯に優先順位を付せて電話の計即でのマウトル		
	54 件	28	28 件 6 件		6 件	けて電話や訪問でのアウトリ ーチ支援を実施 対象世帯 489世帯
						生活物資配布 262世帯

事業項目 本年度実施状況 ③ 未償還・未応答者へのアプローチ 6回以上滞納している218世帯に対して、3回まで架 電を行い、繋がらなかった95世帯については、その後、 連絡を依頼する文書を送付した。それでも応答がない75 世帯に対して訪問を行い、生活状況の聞き取りを行うとと もに償還指導、免除・猶予の案内を実施。 ④ 関係機関との連携 【社協内連携】 週2回(火曜日及び木曜日)、フォローアップ事業担当 者によるミーティングを行い、事業に係る連絡・報告や気 になるケースに係る意見交換等を実施。 隔週で生活福祉資金本則の担当者や自立相談支援事業 (就労支援、家計改善支援)の担当者、福祉サービス利用 援助事業の担当者等、他事業の相談員とのミィーティング を実施。 個別支援と地域支援の合同会議「支援会議」を月1回開催。 【自立相談支援機関との連携】 自立相談支援機関(市役所)で家計改善や就労支援事業等 を利用していた利用者で支援終了後にフォローアップ事業 による支援を希望する人を本事業に繋いでもらい、引き続 き本事業による支援を行う。逆に、就労支援など、本事業か ら自立相談支援機関に繋いだ。 1月23日には、自立相談支援機関との連携を深めるこ とを目的に合同研修会を開催した。 【地域包括支援センターとの連携】 介護が必要と思われる相談者について、地域包括支援セ ンターの職員といっしょに訪問し、介護認定に繋げた。 【民生児童委員との連携】 民生児童委員協議会の役員が集まる会合で、本事業のチ ラシを配布し、地域で気になる人があれば繋いでもらうよ う依頼した。

前年度実績

社協の支援を受けながら生活 再建を望む世帯には「寄り添い プラン」を作成し、継続的な支 援を実施

寄り添いプラン作成 4世帯

・関係機関との連携 市生活支援課職員を招き、相談 支援を行う際の具体的な手法 等を学ぶ勉強会を実施

八幡市民生児童委員協議会の 各地区定例会及び八幡市内の 見守り隊定例会にて、本事業の 告知及び生活困窮世帯の情報 共有について依頼を行った。

・「温ったか京都・寄り添いワーカー」を紹介する事業啓発チラシを作成し、配布アンケート回答世帯 259世帯各種公共施設等に配架220部

生活相談会の実施

日 時:令和6年3月23日(土)

 $10:00\sim 12:00$

場 所:八幡市立福祉会館 相 談室2

参加者:14名

内 容:「温ったか京都・寄り 添いワーカー」による生活相談

専門生活相談会の実施

日 時:令和6年3月22日(金)

 $10:00\sim 12:00$

場 所:八幡市立福祉会館

活動室5・6・7

参加者:9名

内 容:京都弁護士会登録弁護 士2名による債務整理等の専門

相談

・居場所づくり

日 時:令和6年2月23日(金・

祝)11:00~13:00

場 所:八幡市立福祉会館 プレイルーム、調理室

①窓口相談及びアウトリーチ(電話・メール・訪問)による償還相談および手続き支援

特例貸付借受人世帯等に対する相談・支援業務を行うため

専任5名を配置

相談件数	アウトリーチ	仮受人から	合計
	1,843件	344件	2,187件

事業項目 本年度実施状況 前年度実績 参加者:34名 上記の相談のうち 内容:誰もが気軽に参加でき うち猶予申請 うち分割申請 うち免除案内 る居場所づくりを目指して、本 事業アンケート回答世帯とボ 52 件 8 件 103 件 ランティア事業に関わりのあ る中学生に告知し、もちつきや ③ 償還猶予中の借受人世帯の支援 ゲームなどを行った。 猶予中の支援 他機関等との連携 意見書作成 54 件 28件 6件 ・相談スペースの環境整備 個別の相談に配慮したパーテ ーションを配置するなど、相談 ④ 未償還・未応答者へのアプローチ ブース(事務室及び会館ロビ 6回以上滞納している218世帯に対して、3回まで架 一) の環境整備を行うととも 電を行い、繋がらなかった95世帯については、その後、 に、相談者にわかりやすい事務 連絡を依頼する文書を送付した。それでも応答がない75 室案内表示板、視覚障がい者に 世帯に対して訪問を行い、生活状況の聞き取りを行うとと も配慮した案内板及びデジタ もに償還指導、免除・猶予の案内を実施。 ルサイネージによる事業告知 を実施。 ④関係機関との連携 【社協内連携】 週2回(火曜日及び木曜日)、フォローアップ事業担当 者によるミーティングを行い、事業に係る連絡・報告や気 になるケースに係る意見交換等を実施。 隔週で生活福祉資金本則の担当者や自立相談支援事業(就 労支援、家計改善支援)の担当者、福祉サービス利用援助 事業の担当者等、他事業の相談員とのミィーティングを実 個別支援と地域支援の合同会議「支援会議」を月1回開催。 【自立相談支援機関との連携】 自立相談支援機関(市役所)で家計改善や就労支援事業等 を利用していた利用者で支援終了後にフォローアップ事 業による支援を希望する人を本事業に繋いでもらい、引き 続き本事業による支援を行う。逆に、就労支援など、本事 業から自立相談支援機関に繋いだ。 1月23日には、自立相談支援機関との連携を深めること を目的に合同研修会を開催した。 【地域包括支援センターとの連携】 介護が必要と思われる相談者について、地域包括支援セ ンターの職員といっしょに訪問し、介護認定に繋げた。 【民生児童委員との連携】 民生児童委員協議会の役員が集まる会合で、本事業のチ ラシを配布し、地域で気になる人があれば繋いでもらうよ う依頼した。

事業項目	本年度実施状況	前年度実績
	 ⑤生活相談会の開催 ●生活相談会 ○第1回 日時:令和6年7月7日(日)10:00~12:00 場所:八幡市立福祉会館 相談室2 参加者:5名 ○第2回 日時:令和6年10月6日(日)10:00~12:00 場所:八幡市立福祉会館 相談室2 参加者:5名 ○第3回 日時:令和6年12月8日(日)10:00~12:00 場所:八幡市立福祉会館 相談室2 参加者:7名 	
	●専門生活相談会 ○第1回 日時:令和6年7月25日(木)10:00~12:00 場所:八幡市立福祉会館 活動室5・6・7 参加者:4名 ○第2回 日時:令和6年10月23日(水)13:30~15:30 場所:八幡市立福祉会館 活動室5・6・7 参加者:3名 ○第3回 日時:令和6年12月17日(火)10:00~12:00 場所:八幡市立福祉会館 活動室5・6・7 参加者:2名	
	 ⑥居場所づくり ●もちつき大会 〈焼き芋大会> 日時:令和6年12月8日(日)12:00~14:00 場所:八幡市立福祉会館 相談ブース、調理室等参加者:17名(大人8名、子ども9名) <もちつき大会> 日時:令和7年3月8日(土)11:00~13:00 場所:八幡市立福祉会館 プレイルーム、調理室参加者:35名(大人18名、子ども17名) 	

事業項目	本年度実施状況	前年度実績
10.ふれあい		119 12/2/199
福祉センター	の連携や出張相談等を活用して対応しました。	
事業	相談件数 98件(実相談者数:61名)	<u>108件(実相談者数:68名)</u>
事業	相談件数 98件(実相談者数:61名) [相談内容] 項目 件数 生計 14 近隣トラブル 3 住宅 0 健康 0 家族 12 医療 2 苦情 1 精神 18 高齢 23 人権 0 その他 25	項目 件 項目 件数 数 近隣 生計 14 トラフ 3 ル 住宅 2 健康 2 家族 20 医療 2 苦情 1 精神 8 高齢 20 人権 1 その 19
		他 19
11.地域活動	・ 利用者総数1,738名 (サロン利用者総数711名)	利用者総数 1,838名
支援センター		(サロン利用者総数: <u>883名</u>)
事業	・やまびこ作品展は「やまびこ Café」に併設	やまびこ作品展は 「やまびこ Café」に併設
	・利用者の働くプログラムとして「やまびこ Café」を隔月で実施しました。原則第3水曜日開催日・参加人数 4月24日 52名 6月26日 50名 8月28日 60名 10月30日 50名 12月18日 44名	やまびこ Café の開催 4月26日 34名 6月28日 39名 8月30日 54名 10月25日 51名 12月20日 60名
	<u>2月26日 51名</u> <u>合計 309名</u>	<u>2月28日 55名</u> <u>合計 293名</u>
	・「障がい者週間」に合わせ12月2日~13日の間、八幡市役 所1階エントランスにて「やまびこ作品展」を実施	
	・地域交流事業「やまびこ夏祭り」9月14日 参加者51名	
	・やまびこ利用者と地域の放課後デイサービス (3ヶ所) の 児童との交流を図った	

事業項目	本年度実施状況	前年度実績
	・啓発活動 6月13日に八幡市民生児童委員(橋本西山地区)セミナーで「地域④活動支援事業及び計画相談事業」について講演を行った。	
	参加者:22名	
	令和6年度ガイドヘルパー養成講座の開催 【開催日時】 全身性障がいコース:2/1(土)・2/8(土)・2/9(土) 午前9時~午後5時	
	精神・知的障害コース: 2/1(土)・2/8(土) 午前9時~午後5時 施設実習2月4日~15日(土)の間 1日 受講者数 全身性障がいコース13名	
	精神知的障がいコース5名	
12.ボランティア活動セン ター事業	・ボランティア講座 (ちょボラタイム ~はじめてのボランティア~) 日時:令和6年11月16日(土)9:30~11:00 場所:石清水八幡宮 参加者:22名(定員20名) 内容:石清水八幡宮を掃除(草引き、ごみ拾い等)	
	・ボランティア活動センター運営委員会 4回開催	<u>4回</u> 開催
	・市民啓発事業 春のちょボラ学校「なぞとき脱出ゲーム」 日時:令和7年3月16日(日)13:00~16:00 令和7年3月30日(日)13:00~16:00 場所:八幡市立福祉会館 参加者数:112名(定員50名×2日間) 内容:福祉体験(点字、手話、要約筆記、ペンシルバルーン、車いす)	・市民啓発事業 第14回みんなで創る福祉のつ どいの開催 日時:令和6年3月17日(日) 13:00~16:00 場所:福祉会館 来場者数: <u>190名</u> 内容:福祉体験(車いす、手話、 点字、要約筆記、ホワイトボー ド、音訳)、おもちゃ病院、子ど もあそび、認知症啓発、カフェ
		・ボランティア講座 (YAWATA はじめての、ボランティアプログラム) 1)やわたのまちをきれいにしよう! コツコツモクモクおそうじボランティア

事業項目	本年度実施状況	前年度実績
7 /12 / 11	T T SO WE THE	日時: 令和5年11月26日
		(日)9:30~11:00
		場所:石清水八幡宮
		参加者: <u>17名</u>
		内容:石清水八幡宮を掃除(草
		引き、ごみ拾い等)
		・福祉委員・ボランティア団体 交流会の開催 日時:令和6年2月17日(土)13: 30~15:30 場所:八幡市文化センター小ホ ール 参加者:15名 講師:摂南大学 現代社会学部 現代社会学科 上野山 裕士 氏 内容:①講演 ②少人数での交
		流 ③講師による講評
	・ボランティア保険の加入者数 <u>1,407名</u>	<u>1,425名</u>
	・福祉行事保険 <u>306件</u>	<u>330件</u>
	・ボランティア連絡協議会 <u>15団体(261名)</u>	ボランティア連絡協議会 15団体(258名)
13.福祉委員	・令和6年度福祉委員会設置数 32 団体	10団件(200円) ・委員会の設置数 32団体
会の設立推進		SATURES SEAT
並びに活動支援	・令和 6 年度福祉委員数 <u>335 名</u>	・福祉委員数 <u>333名</u>
	・ふれあいサロン <u>50ヶ所 延べ 819回開催</u>	・ふれあいサロン <u>49</u> ケ所・延べ709回開催
	(福祉委員交流会のかわり) 談活「地域福祉実践交流」 実施日:令和7年1月19日(日) 13時30分~16時00分 場所:八幡市文化センター 小ホール 参加者:95名 1)地域活動団体に所属されている方(自治会、民生児 童委員、福祉委員会、老人クラブ) 2)ボランティア団体に所属されている方 3)専門職・関係機関 4)企業(八幡市あんしんネットワーク加盟団体他) 内容:【話題提供①】談活って何?皆さんと一緒に目 指していきたいこと	【福祉委員交流会】 実施日:令和6年2月17日(土) 13:30~16:30 場所:八幡市文化センター 小ホール 参加者:115名 講師:摂南大学 現代社会学部 現代社会学科 上野山 裕士 氏 内容:①講演 ②少人数での交 流 ③講師による講評

事業項目		本年度	前年度実績		
	【談活②】私が感	介・活動 幡市あん いいて			
14.福祉サー ビス利用援助 事業	・判断能力が不十分 的障がい者、精神障 助や日常的な金銭管	近がい者に			
	利用者数	32名	生活支援員登録者 数	18名	利用者数 <u>31名</u> 問い合わせ件数 <u>36件</u>
	問い合わせ件数	37件	関係機関との調整	1,095 件	新規相談件数 <u>9件</u> 生活支援員登録者数 <u>16名</u>
	新規相談件数	11 件	専門員・生活支援 員の研修への参加	7回	関係機関との調整 <u>945件</u> 研修への参加 <u>9回</u>
	・山城北中広域社協 ① 専門員 ・生活支 (1)専門 ・ 大田 ・ 中本 ・ 中本 ・ 年 9 月 ・ 中本 6 年 9 月 ・ 中本 6 年 1 月 ま 1 日 ・ 中本 ・	接員の資 120年 20年 20年 20年 20年 20年 20年 20年 20年 20年	・山城北中広域社協合同講座 (年6回) ・K-ねっと全国セミナー 任 意後見基礎知識 (2月26日) ・地域福祉権利擁護事業に係 る関係機関・団体等との情報・ 連絡会議 (3月28日) ・実務研修・事例検討会 (1月11日) ・第1回生活支援員新任研修 (8月3日) ・第2回生活支援員新任研修 (11月6日) ・生活支援員現任研修 (12月6日)		
	 ② 広報や啓発に関いる。 ・令和6年度成年の令和6年8月9日の。 ・八幡市社会福祉 ⑤ その他の取り組の事がある。 ・山城北中部広域の令和6年5月~年の令和6年度第1日の令和6年6月13日 	後見制度 (金) 15 協議会の み 合同講座 4月1回開 回地域福	事業紹介	・福祉サービス利用援助事業 専門員新任研修 (7月4日) ・第1回権利擁護事業運営会 議 (Zoom) (8月9日) ・第2回権利擁護事業運営会 議 (Zoom) (8月31日) ・山城北中広域社協合同 I♡地域生活支援サポーター 講座 (2月6日)	

事業項目	本年度実施状	· 況	前年度実績
15.広報活動	 ・山城北中部広域社協合同講座の令和6年12月6日(金) 13:30~ ・令和6年度地域福祉権利擁護事令和6年3月24日(月) 10:30~ ・年4回 社協だよりの発行 ・社協の存在をより理解していた方 	Fr修会 ・16:00 業説明会 ・12:00	 ・法人後見担当職員研修 (3月5日) ・法人後見担当職員研修 (3月13日) ・年4回 社協だよりの発行
	ージでの情報提供にも努めました。 ム、エックス(旧ツイッター)、LJ カウントを運用し、情報発信ツー/ た。	INE の各 SNS 公式ア	・企業向けパンフレットの作成
16.啓発活動	・市民福祉講座 市民の関心の高い暮らしに役立っ 市民福祉講座を開催しました。 【テーマ】 「子育て」と「多様性」に着目し、「福みんなちがってみんないい!」をうて実施しました。 【第1回】~多様性を認め合う子育日時:令和6年11月2日(土)講師:澤田淳子氏参加者:15名 【第2回】~こどもと考える性の多日時:令和6年11月9日(土)講師:谷口貴子氏参加者:15名	・市民福祉講座 「地域に笑を、生活に実に ・地域に変を、生活に実施を、ともで実でで、できるとと、子育で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	
	• 福祉出前講座	11回	福祉出前講座として <u>職員を11回</u> 派遣しました。

事業項目	本年度実施状況	前年度実績
17.第3次地域福祉推進計画の推進と進行管理及び次期計画の策定準備	(1) 談活プロジェクト 【居場所づくり】 ・世代や属性を越えて気軽に集まることができるコミュニティづくりを目指し、11 月から原則第3火曜日に福祉会館のロビーで集まり交流をおこなった。(流しそうめん、まちあるき、美味しいコーヒー淹れ) 24回(のべ203名)※事前協議を含む	(1) 談活プロジェクト 【居場所づくり】 ・世代や属性を越えて気軽に集まることができるコミュニティづくりを目指し、11月から原則第3火曜日に福祉会館のロビーを活用し参加者に軽作業していただく場を設けた。 11月21日、12月19日、1月16日、 2月20日、3月12日に実施
	【情報発信】 ・認知症啓発となる『オレンジやわた』(八幡市高齢介護課と社協)の取組に、摂南大学現代社会学部 FAL 八幡チームが加わる形で談活を実施した。認知症のご本人や、その家族、認知症の方を見守る地域住民へのインタビューをまとめ「おれんじのーと」を作成した。20回(のべ214名)	【情報発信】 摂南大学と協働し、福祉のつど いに関係するボランティア団 体や当事者団体の取材を行い、 学生目線で編集し、YouTube に アップロードした。 1月に学生と団体との交流会を 行い、2月に取材し、3月に動画 をアップロード
	【地域福祉実践交流】 地域・関係機関・事業所の実践報告や交流を通じて互いに活動内容を理解するとともに、それぞれの思いや可能性を分かち合いながら、市域の地域福祉活動の基盤強化を目指して談活を実施した。 1回(のべ95名)	【地域福祉実践交流】 地域活動者や団体、関係機関が 地域の現状と課題について共 通の認識を持つことができる 場づくりを目標に、令和4年度 まで進めてきた男山団地地域 での絆ネット地域懇談会を振 り返る交流会を開催した。 1月23日に生涯学習センターふ れあいホールで開催
	【多機関連携】 成年後見制度利用促進等に係る中核機関の整備にあたり、相談窓口を担う職員の権利擁護に係る知見向上を目的とし、権利擁護支援関連事業である福祉サービス利用援助事業及び成年後見制度に関する研修会を開催した。 3回(のべ82名)	【多機関連携】 福祉に関する専門職が分野を 越えてつながり、気軽に連携、 相談ができることを目標に座 談会を開催した。 ① 7月27日 「専門職が必要だと思う居場 所とは」 ② 9月22日 「支援対象者主体の支援について」 講師:同志社大学 野村裕美教授
		③1月29日

事業項目	本年度実施状況	前年度実績			
	(2) 八幡市地域福祉推進協議会 ・地域福祉推進計画について概要の確認、談活プロジェクト及び進捗管理体制について協議 令和7年2月に実施	「障がいのある人の権利擁護について「当事者の思い」に触れる」 講師:玉木幸則氏、同志社大学野村裕美教授 (2)八幡市地域福祉推進協議会・地域福祉推進計画について概要の確認、談活プロジェクト及び進捗管理体制について協議令和5年11月に実施			
18.受託事業	 ・リフトカー運行事業				
18. 文 託 争 業 の運営	- ・リフトル一連行事業 - リフトカー運行状況は下記のとおりです。				
2 2 1	公的機 医療機 その他 計 利用延べ人員	公的機関 <u>0</u>			
	関関	医療機関 <u>171</u>			
	1 158 94 253 253 (51) Bet 1 B	その他 <u>92</u>			
	(利用実人員 18人)	計 <u>263</u> (利用実人員 16人)			
	10/\(\sigma\)	(四)四天八貝 <u>10八</u>)			
	・産前産後ホームヘルパー派遣事業	・産前産後ホームヘルパー派遣事業			
	ヘルパー <u>12名を15家庭の利用者に派遣</u> しました。	12名を15家庭の利用者に 12月 12月 12月 12月 12月 12月 12月 12月 12月 12月			
	派遣回数 派遣時間	派遣回数 <u>187回</u> 派遣時間 186.5時間			
	275回 274.5時間	MAYER A HIT TOO ON THIS			
 19.施設の管	・八幡市立八寿園運営管理	・八幡市立八寿園			
理運営	【利用者総数】	利用者総数 13,590名			
	<u>14,822名</u>	(男性: 4,522名)			
	(男性4,964名・女性9,858名)	(女性: 9,068名)			
	(利用制限有)	(利用制限有)			
	・福祉会館運営管理	· <u>福祉会館</u>			
	利用者総数: 11,762名	利用者総数: 11,197名			
20 企業担除	利用団体数: 34団体	利用団体数: <u>34団体</u>			
20.介護保険 関連事業	・居宅介護支援事業 介護支援専門員(ケアマネジャー) 5名で、延べ7件	6名で延べ11件			
174~L T /K	(内他市町村2)の介護認定調査を行いました。	(内他市町村4件)			
	【ケアプラン作成状況】				
	・要介護度1 519名	· 要介護度1 594名			
	・要介護度2 651名	· 要介護度2 715名			
	・要介護度3 249名 ・要介護度4 204名	・要介護度3248名・要介護度4176名			
	・要介護度5 204名 153名	・要介護度5 122名			
	合計 1,776名	合計 1,855名			

事業項目	本年度実施状況	前年度実績			
	要支援 $1 \cdot 2$ の方の介護予防サービス計画を作成しました。 その延べ件数は 136 件でした。	<u>延べ 117件</u>			
	・訪問介護事業 サービス提供責任者 <u>5名</u> 、訪問介護員 <u>25名</u> により 延べ <u>12,899名</u> にサービス提供をしました。	サービス提供責任者5名訪問介護員26名延べ13,904名			
	回数時間	回数時間			
	身体介護2,4301,351身体生活2,6322,962	身体介 3,367 1,916			
	生活援助 4,357 3,815 介護予防 3,480 3,377	身体生 1,863 2,046			
	合計 12,899 11,505	生活援助 4,613 4,468			
		介護予			
		合計 13,904 12,368			
	・スマイルサポート事業 (自費サービス) 利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力 に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、自費サービスの提供を行いました。 登録利用者 13名 延べ 169回 ・認知症対応型通所介護事業 「八幡市立八寿園」で実施している八寿園デイサービス 事業については、249名、2,445回の利用をいただきました。(平均介護度1.95)	登録利用者 17名 延べ 139回 283名・2,629回 平均介護度1.8			
	・地域支援事業 要支援・要介護に陥るリスクの高い高齢者を対象に状態の悪化を防止することを目的に予防事業を行いました。 ◇閉じこもり予防支援事業・口腔機能向上支援事業 栄養改善事業 いきいき教室(72回開催) 登録者数 40名・延利用人数 331名	<u>(54回開催)</u> <u>登録者数 26名</u> 延利用人数 232名			

事業項目			年度2	実施状況					 前年度実績			
1 /15 // 15	◇運動器	の機能向上事		/ \//	-				(60回開催)			
	◇パワー	アップ介護予	坊教室	图 (80回	<u>開催</u>)					录者数	38名	
		登録	者数	60名·	延利用	人数:	965名		延利月	月人数	574名	
	◇ ランチ	De サービス				4.0	→ BB /W				47回開催	
			<u> </u>	登録者数					延べ利用		309名	
						用人数:			延べ従事	<u> 有 </u>	249名	
					<u>æ '\</u>	尹'日 妖	<u> 24271</u>					
	◇八寿園	亭						圣	<u>登録者数14人</u> ・ <u>43回開催</u>			
			<u>登</u>	録者数1	<u>3人</u>	· 50E	可開催		延べ利用人数277人			
					延べ利	用人数	393人		延べ従事者数176人			
					延べ従	事者数	176人					
	<u> </u>	3 N 3 叶丰本							(00	□ 88 /ພ \		
		もり予防事業 つらつ健康教	⇒ (c.	c同間爆	١					<u>回開催)</u> 者数42名	_	
	. 14			<u>6回</u> 開催 <i>。</i> 37名・		人数	569夕			1 <u>数42年</u> 月人数	558名	
		<u> </u>	TD 955	от⊳д	<u> </u>	/ \ 3A · ·	902гд		<u> </u>	11/13/	990>Д	
		援サポーター										
		自身による社		『を通し、	て、介記	隻予防を	推進す					
	るために	実施する事業		X 1 00 F	/D a #	. TD 3/2 V2	0 (7)		100 # /T	>	M 10 # \	
		<u>合計</u>	登 球石	對100名	(R6.莉	· 規登琢	<u>8名</u>)		100名(F	6 3.新規登	<u> </u>	
	• 軽度生	活援助事業										
	一	延利用者数	利力	 用回数	利用	時間]		延利用者	利用回数	利用時間	
		0	1 47	0	1 47 1	0	1		0	0	0	
			1				1					
	• 寝具乾	燥丸洗いサー	ビス事	業								
	乾燥消毒	 		丸洗い	サービ	ス			乾燥消毒サービス			
	実施回	数延利用	者数	実施回	可数	延利用	者数		回数	利	用者数	
		4	105		2		79			4	109	
				٦								
	計	<u>. T </u>	I a vera						丸洗	いサービ	ス	
	実施回数	/ / / / / / /							回数	利	用者数	
		6	184]						2	81	
										計		
									回数	利	用者数	
										6	190	
1	I							1				

事業項目	本年度実施状況	前年度実績
21. 障がい福 祉サービス事 業	・障がい者居宅介護事業	16名を7名の利用者に派遣 派遣回数 派遣時間 1,094 947.5
	 ・知的障がい者居宅介護事業 ヘルパー<u>5名を2名の利用者に派遣</u>しました。 派遣回数 派遣時間 177 290 	5名を2名の利用者に派遣 派遣回数 派遣時間 188 305
	 ・精神障がい者居宅支援事業 ヘルパー3名を2名の利用者に派遣しました。 派遣回数 派遣時間 44 48.75 	3名を2名の利用者に派遣 派遣回数 派遣時間 49 35
	・身体障がい者移動支援事業ヘルパー<u>6名を5名の利用者に派遣</u>しました。派遣回数 派遣時間105 347	8名を5名の利用者に派遣 派遣回数 派遣時間 117 463
	 知的障がい者移動支援事業 ルパー12名を9名の利用者に派遣しました。 派遣回数 派遣時間 175 11,825 	11名を11名の利用者に派遣 派遣回数 派遣時間 155 910
	 精神障がい者移動支援事業 ルパー3名を1名の利用者に派遣しました。 派遣回数 派遣時間 11 17 	5名を1名の利用者に派遣派遣回数派遣時間1524
	・児童移動派遣回数 派遣時間0 0	2名を1名の利用者に派遣 派遣回数 派遣時間 3 7